

第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会 第8回広報・県民運動専門委員会 結果概要

1 日 時

令和3年4月19日（月） 10：30～11：30

2 場 所

ウェディングプラザアラスカ 4階 ダイヤモンド

3 出欠状況

出席者 21名（代理出席2名）

欠席者 6名

4 議事概要

（1）委員変更の報告

13名の委員変更について報告

（2）説明・報告事項

- ① 第80回国民スポーツ大会準備経過
 - ② 第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会決定事項
 - ③ 第80回国民スポーツ大会開催内定等について
 - ④ マスコットキャラクター「アップリート君」及び規定書体の変更等について
 - ⑤ 令和2年度広報活動の取組実績及び令和3年度広報活動の取組予定
- 事務局から①～⑤について説明・報告。質疑等はなし。

（3）審議事項

- ① 第80回国民スポーツ大会のダンスの制作について
- 事務局から説明。原案どおり可決。質疑応答等は以下のとおり。

ア ダンスの振付の制作について

【蒔田委員】

ダンスの振付の種類については、3つのバージョンの振付を制作することとしており、それらのダンスを、先催県では学校の授業や行事等で活用しているとのことだが、本県ではどのように活用していくのか伺いたい。

具体的には、各学校に使い方を任せるのか、それとも統一的に必ず授業で取り入れるようにするのか等、その点について教えていただきたい。

【事務局】

本日、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の先生方にご出席いただいているのでご存じの方もいると思うが、数年前から学校の体育の授業で

は、ダンスが体育科目の領域として取り入れられている。ダンスの振付を制作いただく青森県女子体育連盟は女性の体育教師が多く所属している団体なので、ダンスの振付を制作した後の普及展開として、青森県女子体育連盟に加盟している先生方から、各学校の先生方にダンスを教え、生徒にも授業の中でダンスを教えるような展開にしていきたいと考えている。

その他に、先催県では、普及・啓発活動の一環として、ダンスを踊れる指導者を育成した上で、学校等からダンスの指導をしてほしいという依頼があった際には、指導者を派遣して普及・啓発を図っていたことから、本県でも同様の方法でダンスを普及させていきたいと考えている。

【下山委員】

ダンスの普及については、県民から YouTube にダンス動画を投稿してもらうことにより盛り上げていくようなことは考えているのか。

【事務局】

今年度から専用ホームページを本格的に運用しており、あおもり国スポの YouTube チャンネル等の SNS も連携しているが、今後、普及・啓発の一環としてダンス動画を投稿してもらい、紹介する取組を考えているので、委員の皆さまのご意見を参考にしながら、進めていきたいと考えている。

イ ダンスの活用予定について

【蒔田委員】

今後の予定にあるダンスコンテストについて、どのようなイメージのものなのか伺いたい。

今後、普及を図っていく中で、各学校の授業や運動会、学習発表会等の行事でダンスに取り組んでほしいと考えているようだが、ダンスコンテストは、参加するそれぞれのグループが考えた独創的なダンスを見せ、競い合うことが現在のあり方であると思う。ダンスの振付がすでに決まっている中で、どのようなダンスコンテストをイメージしているのかお聞かせいただきたい。

【事務局】

ダンスコンテストについては、青森県女子体育連盟が制作するダンスの振付で踊るだけでなく、曲の間奏等で参加者の方が考えたオリジナルの振付を踊ってもらうことを想定している。

ダンスコンテストの仕掛け自体は、今後、詳細を検討していくことになるので、委員の皆さまにもご意見等をお伺いしながら、今後、詳細を決めていきたい。

【委員長】

ダンスコンテスト開催までには事務局に詳細を詰めていただき、蒔田委員をはじめ、委員の皆さまにはご協力をお願いしたい。

② 県民運動の名称及び進め方について

事務局から説明。原案どおり可決。質疑応答等は以下のとおり。

ア 今後の予定について

【事務局】※補足説明

補足となるが、会議資料に記載している「県民運動の例」のとおり、県民運動には、ボランティア活動への参加、地域のスポーツイベントや開催競技の体験教室への参加、プロスポーツや各種スポーツ大会等の観戦や応援が含まれる。また、きれいな街づくりによる来県者の歓迎のための環境整備ということで、例えば、道路清掃や市町村単位や町内会単位で行っている清掃活動が含まれる。その他、のぼりや案内看板などによる来県者の歓迎ということで、国体の会場の入口にのぼり旗を飾る。そこには、47都道府県それぞれののぼり旗があり、例えば、青森県であれば、「けっばれ！青森県」というメッセージとともに、県の名産品であるりんご等がのぼり旗に描かれているが、開催県の小学校や中学校のお子さん方が決められた担当の県ののぼり旗を作成し、それらを会場に飾る。さらに、豊かな自然や歴史、文化、食など、青森の多彩な魅力の紹介をすることも、県民運動のひとつである。

今後の予定の中で、市町村及び庁内各課を対象に、県民運動の例を示して、それに関連してどのような事業を実施しているか調査する予定であり、そこで回答があった事業については、開催年まで継続して実施してもらうようお願いする。また、調査の結果を整理して作成する「県民運動ガイドブック(案)」を、11月に開催を予定している次の会議で皆さまにお諮りし、記載されている事業を県民運動として取り入れてよいか等についてご審議いただいた後、県民運動ガイドブックを作成し、配布する。

【委員長】

事務局から詳しい説明があったが、県民運動の運動がスポーツだけでなくアクティビティも含まれているとご理解いただければいいかと思う。

イ 取組予定について

【高橋委員】

県民運動の活動内容について考えながら説明を聞いていたが、資料の15～16ページに、とてもすてきなマスコットキャラクターがたくさん掲載されており、公的機関におけるLINEの活用についてはよく存じ上げないが、LINEスタンプにしてスポーツ団体等は無償で配布すれば、若い人も含めて、もっと盛り上がるのではないかと考えたので、ご提案させていただく。

【事務局】

若い人へ向けた普及・啓発のためのアイデアとして、貴重なご意見をいただいたので、参考にしながら、具体的なことについては、今後、検討していきたい。

マスコットキャラクターについては、事務局で使用取扱規程を策定しており、基本的には無償でご使用いただけるものである。競技団体や市町村において、そこで実施される競技等についてマスコットキャラクターを用いて普及・啓発してもらうことについては、問題ない。例えば、市町村で行うスポーツ関係の事業のポスターやイベント等で使用するのであれば、事務局としては連絡してもらえれば問題はないので、様々な機会で使用していただきたい。競技種目別のマスコットキャラクターを作成しているので、競技団体でも連絡してもらえれば様々なことに使用できるが、あまり周知されていないようなので、ホームページや文書等で今後、情報発信していきたい。委員の方々におかれましても、ホームページをご覧ください、様々な機会にご活用いただきたい。

【事務局】

取組予定の中に、ボランティアについて記載されている。国スポにおいては、開会式・閉会式の運営ボランティアとして、会場の整理等、いろいろなボランティアが必要になってくる。国スポだけでなく、障スポにおいてもかなりの人数のボランティアが必要であると聞いている。事務局としては、ボランティアの募集や登録、紹介をしてくれる組織を構築し、あおもり国スポのボランティアだけで終わるのではなく、あおもり国スポが終わった後もそのまま根付いて、スポーツに限らず、各市町村の各種イベントや地域づくりの活動に活用していけるようなボランティア組織を構築したいと考え、そのために、今から準備を進めていきたいと考えている。また、個人だけでなく、企業や団体ごとに登録していただき、ボランティア募集の際には、企業・団体に所属している人をボランティアとして派遣してもらうような仕組みを作りたいと考えているので、仕組みができた際には、委員の方々に、企業や団体としてご登録いただくようご協力をお願いしたい。

【委員長】

私も、職場でボランティアを募る形で協力していきたいと思うので、委員の皆さまもご協力をお願いしたい。

以 上